

2024年取組一覧(アジア①)

インド	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品PR
インド	日本産水産物PRイベント
インド	日本産食品及び酒類普及イベント
インド（ベンガルール）	日本産ホタテPRイベント
インド（ベンガルール）	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品PR
インドネシア	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産農林水産物及び酒類のPR
インドネシア	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産物（ほたて）の紹介
インドネシア（スラバヤ）	日本産水産品レセプション
インドネシア（デンパサール）	天皇誕生日祝賀レセプションでの水産品プロモーション
インドネシア（メダン）	日本産水産品プロモーション
カンボジア	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品PR
カンボジア	渡航前留学生壮行会兼ネットワーキングにおける日本産水産品PR
カンボジア（シェムリアップ）	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品のPR
スリランカ	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産物の魅力発信
韓国（済州）	済州総領事館主催レセプションにおける北海道産ホタテPR
韓国（釜山）	日本産食品の魅力発信レセプションの開催

2024年取組一覧(アジア②)

韓国（釜山）	日本産水物の魅力発信・レセプションの開催
韓国（釜山）	第三回日本産食品の魅力発信レセプションの開催
中国（重慶）	広島県産日本酒と四川料理のペアリングイベント
バングラデシュ	日本産ホタテのプロモーション
バングラデシュ	ホタテPR
バングラデシュ	天皇誕生日レセプションにおけるホタテブース設置
フィリピン	和食の魅力発信イベント
フィリピン	天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品及び酒類、並びに日本企業のPR
フィリピン（ダバオ）	天皇誕生日祝賀レセプション：官民で日本の魅力発信
ベトナム	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産物及び日本酒のPR
ベトナム（ダナン）	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品のPR
ベトナム（ホーチミン）	天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産食品及び日本酒のPR
マレーシア	マレーシア食品輸出支援プラットフォームの立ち上げ
ラオス	天皇誕生日祝賀レセプションに併せた日本産水産品の魅力発信に係るブース出展
モンゴル	天皇誕生日祝賀レセプションにおけるホタテ寿司・焼ホタテ等のPR

【農林水産物・食品の広報】 天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品PR(インド)

開催日: 令和6年2月23日

場 所: 大使公邸(ニューデリー)

主催: 大使館

協力／参加企業・自治体: 出展企業35社

【概要】

- 天皇誕生日レセプションにおいて、インドに進出している／進出を検討している日系食品・飲料メーカーや日本食レストラン等、35社がブース出展。
- ホタテ等の日本産水産品の魅力を発信するため、日本産水産物に焦点をあてた特設ブースを設けた。同ブースでは、福島県産酒類のPRも行った。
- 当日はインド政府関係者や日印企業関係者など約700人が来場し、当地日本食レストランがにぎり寿司を実演披露したほか、公邸料理人によるホタテのフライや服部学園の一枚田教授によるホタテのグリル等を提供。
- X、Facebook、Instagramの当館アカウントから当日の様子について投稿を行った。



本使によるインド外務省主賓夫妻へのトップセールス



在インド大使館



当館のX投稿



当館のFacebook投稿

【農林水産物・食品の広報】 日本産水産物PRイベント(インド)

開催日: 令和6年3月20日

場 所: The Imperial(ムンバイ市内)

主催: 大使館

協力/参加企業・自治体: 参加企業8社、JNTO、JETRO

【概要】

- 日本産水産物をはじめとする日本産食品及び酒類の魅力を発信するため、ムンバイ市内の3つのレストランのシェフが日本産水産物メニューを含む日本食を日本産酒類とともに提供。会場内に日本産水産物のインポーターがブース出展し、商談も実施。
- 当日はホテル・レストラン関係者、インフルエンサーなど約160人が来場。日本産水産物に関し、刺身や寿司に加えて、イタリア料理や中華料理等への幅広い活用、バランスの良い組み合わせ等について理解促進を図った。
- X、Facebook、Instagramの本使及び当館アカウントから当日の様子について投稿を行った。また、複数のインフルエンサーが動画投稿し、多くのフォロワーに日本産水産物や日本産酒類を認知してもらう機会を得た。

在インド大使館



当館のFacebook投稿



シェフによる日本産水産物の紹介



ライブキッチン



本使によるマスター・オブ・ワインへのトップセールス

インフルエンサーによる投稿

【農林水産物・食品の広報】

日本産食品及び酒類普及イベント(インド)

開催日：令和6年9月20日

場 所：在インド大使公邸

主催（共催）：在インド大使館、一般社団法人ChefooDo、日印国際産業振興協会、
Asuku India Private Limited

協力／参加企業・自治体：日系企業19社

在インド大使館

【概要】

- 9月19日から22日にかけてニューデリー市内で開催された「World Food India 2024(以下、WFI)」に合わせ、日印観光交流年及びジャパンマンスの一環として、両国間の人脈強化、日本食・日本産酒類・日本観光の認知度向上を目的に実施。
- 当日はインド政府関係者、ホテル・レストラン関係者や現地のインフルエンサーなど約80人が来場し、日系企業等による合計19のブースで日本食・日本産酒類・日本観光に関する商品・サービスを体験。ブースの具体的な内容は、WFIにも出展した日系食品・飲料メーカーによる商品展示や試食等。
- 開会挨拶では、印食品加工省からプリート・パル・シン局長、印観光省からアルン・スリバスタバ局長補、日農林水産省から笹路健審議官、山形県酒造組合から小関敏彦特別顧問等が挨拶。また、日本人で唯一、若干13歳にして、伝統インド舞踊のプロダンサーとなった小牧詩葉氏がインド舞踊を披露。
- インフルエンサーについては、75万フォロワーを抱えるインフルエンサーの参加も得られ、多くのフォロワーに日本食や日本産酒類を認知してもらう機会を得た。また、日本だけでなく、当地でも本イベントに関する記事が掲載された。



会場で披露されたインド舞踊



会場の様子



1万以上の「いいね」を獲得したインフルエンサーの投稿

【農林水産物・食品の広報】

日本産ホタテPRイベント(インド・ベンガルール)

在ベンガルール総領事館

開催日: 令和6年2月6日

場 所: 総領事公邸

主催: 在ベンガルール総領事館

共催: JETROベンガルール事務所

【概要】

- 日本産ホタテの認知度向上を目的として、市内の高級レストランのシェフと調達担当者向けに、日本産ホタテ試食イベントを開催した。
- 初めに日本産ホタテに関する説明のほか、ホタテの味や風味を引き立てる日本酒についても、酒アドバイザーから併せて紹介した。その後、フォーシーズンズ・ホテル・ベンガルールの日本人シェフの與那覇敦氏がインド人の嗜好(しこう)に合わせて開発したホタテメニュー5品の試食会が行われた。
- グリル、点心、春巻き、すし、南インド風カレーなど、さまざまな方法でホタテを調理した品々は来場者から好評だった。
- 本件イベントについては、現地の食品ニュースサイトで紹介された。



現地食品ニュースサイトでの紹介



総領事(右)による説明



ホタテを使って寿司を握る日本人シェフ



酒アドバイザー(右)による日本酒説明

【農林水産物・食品の広報】天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品PR (インド・ベンガルール)

開催日： 令和6年2月23日

場 所： シャングリラホテル(インド・ベンガルール)

主催：在ベンガルール総領事館

協力：JETROベンガルール事務所

在ベンガルール総領事館

【概要】

- 天皇誕生日レセプションにおいて、日本水産品の魅力を発信するため、日本産のホタテ、マグロ、鯛、カンパチ等を使い、ホテルの日本人シェフほかがその場で調理実演する、3つ(すし、天ぷら、鉄板焼き)の特設カウンターを設けた。
- 会場では、日本産酒類を提供するバー・カウンターも設けた。
- 当日は、インド・カルナータカ州の産業大臣をはじめ、州政府関係者や日印企業関係者など約250名が来場し、日本水産品を使った日本食を楽しんだ。
- 本件レセプションの様子は、現地ニュー・インディアン・エクスプレス紙で「すし、さけ、そして高貴な精神」と題して報じられた。また、デカン・ヘラルド紙では「ベンガルールで日本のナショナルデーが祝われた」と題して報じられた。



すしカウンター
(州産業大臣(右)による試食の様様)



当館の日本産酒類提供カウンター



現地報道ぶり

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産農林水産物及び酒類のPR(インドネシア)

開催日：令和6年2月21日

場所：ムリアホテル・ボールルーム

主催：在インドネシア日本国大使館

在インドネシア日本国大使館

【概要】

- 天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、政府要人や財界・ビジネス関係者及び報道関係者に対して、日本産農林水産物及び酒類の魅力及び安全性のPRを実施。
- 同レセプションには、1,103人が参加。
- 公邸料理人やJETROアレンジによる輸入業者などによりバラエティーに富んだ和食及び日本食材を提供。また、地方自治体(愛媛県、福島県、富山県及び北海道十勝清水町)と連携し、各地の産品を提供。日本産酒類コーナーでは日本酒、日本産ワインなどを提供した。
- ALPS処理水の風評被害を受けている北海道産ホタテ(1,500食)や東日本大震災の被災地である福島県産日本酒を提供し、日本産食品が安全であることをPR。
- 寿司や和牛を提供するブースでは行列ができるなど、参加者の反応は好意的で、日本産農林水産物及び酒類に対する強い関心が示された。
- 当地メディアで同レセプションの様子が報道され、当日日本食普及親善大使の任命状を授与された元JKT48のメンバーであるメロディ氏の「日本食が好きな人たちが本場の味を楽しめるように、日本から新鮮な日本食がここにもっと増えることを願っています」との声が紹介された。



レセプション会場の様子

Dubes Masaki tegaskan produk laut Jepang aman dikonsumsi

■ Kamis, 22 Februari 2024 13:07 WIB



Duta Besar Jepang untuk Indonesia Masaki Yasushi (kanan), disaksikan oleh Menteri Energi dan Sumber Daya Mineral Arifin Tasrif, menyerahkan sertifikat penunjukan Duta Persahabatan untuk

Antaranews.comより引用

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産物(ほたて)の紹介(インドネシア)

開催日: 令和6年2月21日

場 所: ムリアホテル

主催: 在インドネシア大使館

在インドネシア大使館

【概要】

●インドネシアにおける天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、当地日本食レストランで人気のあるホタテを提供するブースを設置。

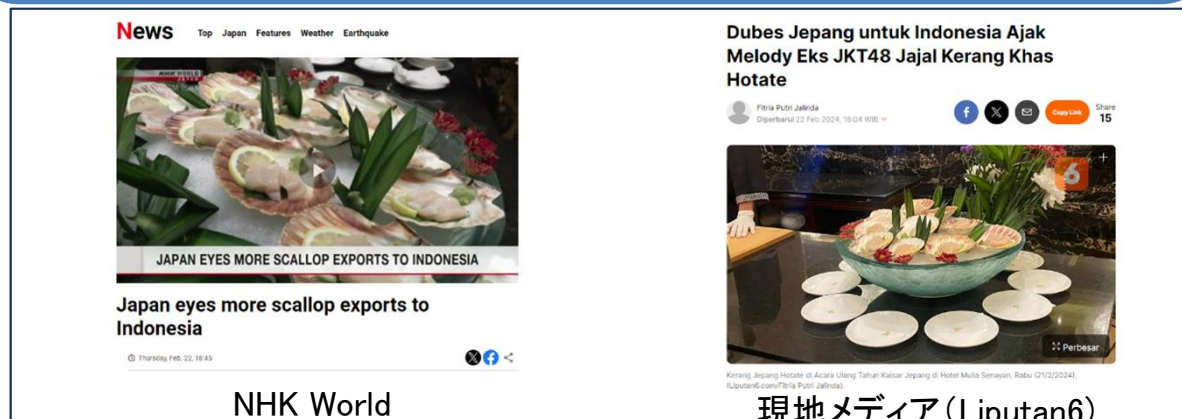
●北海道産ホタテの刺身及びバター醤油焼きを750食ずつ提供。用意したホタテは盛況であり、閉会よりも前にすべて来場者に提供した。来場者は1,103人。

●農林水産省により日本食普及の親善大使に任命されたメロディ氏(元JKT48メンバー)に、正木大使とともにホタテを試食いただき、その様子やメロディ氏のコメントが現地メディア等で報じられた。(報道ぶり下記参照。)

●メロディ氏自身のインスタグラムでも投稿(フォロワー数130万人。投稿は右参照。)



メロディ氏のインスタグラム投稿



【農林水産物・食品の広報】

日本産水産品レセプション(インドネシア)

開催日: 令和6年1月29～30日

場 所: 在スラバヤ日本国総領事公邸

主催: 在スラバヤ日本国総領事館

協力／参加企業: 日本食材取扱企業4社

在スラバヤ総領事館

【概要】

ホタテ、ハマチ、甘エビ、イラク、ウニ、あさり貝等の高品質な日本産魚介類を、和食人気が高まっているインドネシアの飲食業界にアピールし、日本産水産品の販路拡大を目指すレセプションを2日間にわたって開催。

このレセプションには、スラバヤ周辺の和食・フレンチ・イタリア・中華の著名なレストラン、ホテル、ケータリング会社のオーナーや料理長など約80名が参加。わざわざこのイベントのためにジャカルタから来た日本産水産品の輸入・流通を手掛ける日系企業と水産物と相性がよい日本酒の輸入業者(酒ソムリエの日本人専門家)から、様々な日本産水産物や日本酒を紹介。さらに、中部ジャワにおいて生わさびを生産している日系食品会社の協力で、なかなか当地では目にすることがない生わさびも紹介することができた。

レセプションの参加者からは、日本産水産物に興味を持ったので、今後自分のレストランのメニューに加えたい、日本産食材をもっと使ってみたいとの好意的な反応を得ることができた。また、レセプション後、今回、日本産水産物を紹介した会社から当館に対して、レセプションに参加したレストラン等から、早速引き合いを受けたり、問合せが来ており、今後、当地における日本産水産物の販路拡大につながることが期待される。

なお、当地の最大手新聞社Jawa Pos、ビジネス系新聞社Bisnis Indonesia、スラバヤで最もリスナーの多いラジオ局Suara Surabaya Web版の各メディアにおいて、本レセプションの様子が報道された。



天皇誕生日祝賀レセプションでの水産品プロモーション(インドネシア共和国バリ州)

開催日: 令和6年2月23日

場 所: アヤナリゾートホテル

主催: デンパサール総領事館

在デンパサール総領事館

【概要】

●2024年2月23日に、バリ州のアヤナリゾートホテルにて、天皇誕生日レセプションを開催。同機会に、日本の水産品をプロモーションする観点から、ゲストに対してホタテを初めとした水産品を提供し、非常に好評を得た。

●バリ州地方政府関係者、各国総領事館、各国名誉領事、各大学長、日本語教師会、病院関係者、芸術家の方々、元日本留学生協会バリ支部の会員、バリ日本人会の役員などの約200名の参加を得たレセプションとなった。

●公邸料理人によるホタテ、マグロ、サーモンなどの握り寿司実演を行った。参加者から、新鮮なネタを鮮やかな手さばきで握る公邸料理人の技に賞賛の声が上がっていた。

●貝殻付きのホタテ料理の提供が、非常に好評で、ホタテ料理を初めて食べたが、非常に味わい深いという感想が述べられていた。



【農林水産物・食品の広報】 日本産水産品プロモーション(インドネシア)

開催日：令和6年3月5日

場 所：在メダン日本国総領事公邸

主 催：在メダン日本国総領事館

【概要】

- 当地メダンにおいて、ここ数年、日本食レストランが多く開店する中、和食に対する理解を一層深めてもらうと同時に、日本産水産物の販路拡大を目的として開催。メダン市内のホテルやレストラン、旅行会社の各関係者、食品サプライヤーなど約40人が出席。
- イベントでは、日本産水産物の加工や流通过程を解説するプロモーション・ビデオを上映。その後、様々な方法で調理された北海道産のホタテや銀ダラなどを提供し、公邸料理人が調理法や食材の説明を行った。
- 併せ、上記和食によく合う日本酒、梅酒なども提供した。
- 出席者からは「アチェ近海でもホタテは採れるが、こんな大きなホタテは見たことがない、このようなホタテの入手方法を知りたい」「いろいろな調理法があることが分かったので、自分のレストランでもホタテを利用したメニューを是非検討してみたい」などの声が聞かれた。
- 当地主要日刊紙、料理専門ウェブサイトなどで本イベントの様子が報道され、そのうち、ワスパダ紙は、日曜紙面1面を割いて多くの写真とともに大きく報じた。

在メダン総領事館



Menjalin Keakraban Budaya Kuliner Melalui Food Tasting Hasil Laut Jepang



【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品PR(カンボジア)

開催日: 令和6年2月14日

場 所: 在カンボジア大使公邸

主催(共催): 大使館

- 天皇誕生日祝賀レセプションの機会に日本産食品(マグロ、ホタテ及びウニの刺身並びに和牛ステーキ)及び日本酒(岩手県、宮城県、山形県、福島県及び石川県の銘柄)を来場者に振る舞った。
- 利酒師(日本酒ソムリエ)の資格を有する在留邦人の協力を得て、来場者に対して日本酒の魅力や銘柄ごとの特徴、ペアリングに適した料理の紹介等を実施。
- 来場者からは、日本産食品及び日本酒の味、新鮮さ、安心・安全な食事に対する評価の声が聞かれた。
- 東北産の日本酒を敬遠するような声は聞かれず、日本産食品及び日本酒の提供ブース前には長蛇の列ができるなど人気の高さが際立った。
- 一方、日本人以外の来場者からは、能登半島地震を念頭に「石川県の日本酒を飲んで応援する」という声は聞かれず、日本国内の各地方に対する認知度はそれほど高くないようであった。
- また、利酒師による説明を受ける前に、「どの日本酒がおすすめか」と問う来場者が多く、本人の好みやペアリングする料理によっておすすめすべき銘柄が異なるということを認識している来場者が少なかった。
- 今後も継続的に日本酒の魅力を発信することにより、当地における日本酒の理解促進を図る必要があり、これにより日本酒の輸出量増加につながるものと期待される。

在カンボジア大使館



【農林水産物・食品の広報】

渡航前留学生壮行会兼ネットワーキングにおける 日本産水産品PR(カンボジア)

開催日： 令和6年3月26日

場 所： 在カンボジア大使公邸

主催(共催)：大使館

参加者：102名



谷内公使



レセプション冒頭、谷内公使から各食材の産地紹介を行い、参加者からは日本産食品が提供されることへの喜びの声が上がった。また、本使からレセプション中に参加者に対して、日本食について紹介し、多くの関心が引き寄せられた。

また、日本食の提供テーブル前には列ができるほど極めて人気が高く、実際に口にした来場者からは、日本産食品(特に水産物)の味、新鮮さに加え、安心・安全な食事に対して評価する声が聞かれた。

渡航前留学生からは日本留学中に、まだ食べたことがない日本産食品を楽しみにするとともに、帰国後に日本食をカンボジアで宣伝したいとのコメントがあった。

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品のPR(カンボジア)

在シエムリアップ領事事務所

開催日: 令和6年2月20日

場 所: ソカ・コンベンションセンター

主 催: 在シエムリアップ日本国領事事務所

協力／参加企業・自治体: Daishin Trading Cambodia LTD

【概要】

- シエムリアップ州知事代理(副知事)、国民議会・外交・国際協力・情報・メディア委員長を主賓に迎え、管轄5州政府関係者や外交団等約170名が参加した天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、日本産水産品、日本産酒類を提供したほか、日系企業のブースを設置して、企業PRを行った。
- Daishin Trading Cambodiaの協力により、日本産水産品(北海道産ホタテ・長崎県産マグロ)を提供し、招待客から好評を得たほか、ブースにおいて、梅酒、石川県産日本酒の試飲をおこなうなど、当地において日本産食品・酒類を購入できる方法を広報した。
- 東日本大震災で被災した宮城県及び福島県産の日本酒を提供し、好評を得た。
- CNC等で報道された。



日本酒で乾杯する主賓



多くの招待客から好評を得た日本産水産品(ホタテ、マグロ)



CNCの報道

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産物の魅力発信（スリランカ）

開催日： 令和6年2月21日

場 所： 在スリランカ大使公邸

主 催： 大使館

【概要】

- 天皇誕生日レセプションにおいて、日本酒・日本茶ブースに加えて、日本産水産物の魅力発信ブースを設置し、16種類の日本産水産物の刺身や寿司を提供。日本食文化の総合発信の場となった。
- 農業大臣や漁業大臣をはじめとしたスリランカ政府関係者や外交団、観光業含むビジネス関係者など総勢473名が訪れ、活況を呈した。
- 在スリランカ大使館のXアカウントにて情報発信。当該ツイートは3月21日現在で、閲覧数40,000回以上となる。投稿画像には、農林水産省が取り組む「#食べるぜニッポン」のロゴを使用した他、当該ツイートを外務省のXアカウントにおいてもリポストされ、幅広く訴求することができた。



在スリランカ大使館



▲公邸料理人による寿司握り実演



▲多くのゲストで賑わう様子



▲日本酒・日本茶コーナーも併設



▲大使夫妻もPRIに参加

【農林水産物・食品の広報】済州総領事館主催レセプションにおける北海道産ホタテPR(韓国)

開催日: 令和6年2月6日

場 所: 済州特別自治道内ホテル

主 催: 在済州日本国総領事館

在済州総領事館

【概要】

在済州日本国総領事館が開催したレセプションにおいて、済州特別自治道の政財界要人をはじめ、メディア・教育・文化芸術分野関係者、大型ホテル幹部等を含む観光業界関係者等、計約170名に対し、北海道産ホタテを提供した。レセプション会場内には、「北海道産ホタテ」のポスターを複数枚展示したほか、在済州日本国総領事による挨拶において、北海道産ホタテをはじめとする日本産水産品の魅力と安全性について来場客に直接PRした。

- 多数の出席者から、「北海道産ホタテの大きさと美味しさに驚いた」との反応が寄せられ、想定以上の好評を博した。北海道産ホタテを提供するブースには常に出席者の列ができ、準備したホタテは行事の途中で品切れとなった。
- 複数のホテル関係者等から、「今後、ぜひ北海道産ホタテを輸入して当地において提供したい」旨のコメントがあり、当館から輸入業者等に係る情報提供を行った。
- 当地における日本産水産品の安全性に係る懸念を取り除くとともに、北海道産ホタテを口にしたことのない当地の多くの人々に対して、その魅力を直接経験せしめることにより、新たな需要を喚起した。



【農林水産物・食品の広報】

日本産食品の魅力発信 レセプションの開催（釜山）

開催日：令和6年2月1日（木）

場所：在釜山総領事公邸

主催：在釜山日本国総領事館

【概要】

- ◆ 総領事公邸にて、日本産水産物に焦点をあてたレセプションを実施、日本産水産物輸入事業社など16社の水産業界関係者のほか、日本食レストラン関係者、大学、文化・交流団体等、約80名が参加。
- ◆ 北海道産ホタテの貝焼きやマグロの解体ショーを開催し、マグロ、真鯛、ぶり、ホヤを寿司、刺身として提供したほか、石川県の天狗舞などの日本酒も提供し、能登半島地震の被災地である石川県支援イベントともなった。
- ◆ 本レセプションをとおし、日本産水産物の販売拡大のための、新たなネットワークを構築できた。

【結果・評価】

- ◆ 日本産水産物を食べた出席者からは、韓国のお店でも日本産クオリティーで販売して欲しいなど、日本産水産物の質の高さ、料理の種類の多様性について言及する反応が得られ韓国内での消費拡大の可能性が確認できた。
- ◆ 今回のイベントを機に日韓の友好ムードがさらに良くなることを期待するとの反応も聞かれるなど、日本産水産物の美味しさを知ってもらう機会になっただけでなく、日本に対する関心を一段と高める機会となった。



【農林水産物・食品の広報】

日本産水産物の魅力発信・レセプションの開催(釜山)

開催日：令和6年2月20日（火）

場所：パラダイスホテル釜山

主催：在釜山日本国総領事館

【概要】

- ◆ ナショナルデー・レセプションの機会に、日本産水産物に焦点をあてた魅力発信を行った。当地の政財界要人、文化人、マスコミなど、約330名が参席。
- ◆ 北海道産ホタテ、マグロ、真鯛、ぶりなどの日本産水産物を、寿司、刺身などとして提供。能登半島地震の被災地、石川県の日本酒「天狗舞」も提供した。
- ◆ 会場ではマグロの解体ショーを実施。日本の水産物の映像を放映したほか、総領事より日本の水産物の魅力と活用について参席者に語りかけた。
- ◆ 提供された水産物の品質の高さには、参席者から絶品との評価があった。ブースでは長蛇の列が途切れず、予想を超える効果があった。
- ◆ 日本産水産物を活魚車や活魚船で韓国に輸出している日本の業者と韓国の水産業者が意見交換等を行い、日本産水産物の一層の活用について関心を高める契機となった。



【農林水産物・食品の広報】

第三回日本産食品の魅力発信レセプションの開催(釜山)

【概要】

- ◆日本の水産物に焦点をあてた3回目のレセプションを総領事公邸にて開催。
- ◆今次レセプションにおいては、日本の水産物の販売経路の開拓、一般市民に対する広報のために、当地水産物輸入業者、水産業、政治・行政、マスコミ関係者等を招待。
- ◆元海洋水産部長官、国会議員、市議会議員、魚市場代表、元行政機関長、報道機関社長、観光協会会長など、約100名が参席。
- ◆北海道産ホタテやマグロに加え、ウニ、イクラ、ボタンエビ、石鯛など、過去2回より多彩な具材を提供し、日本の水産物の多様性、質の高さを誇示。



開催日：令和6年3月15日(金)
場所：在釜山総領事公邸
主催：在釜山日本国総領事館



참치 해체 시연, 사케 시음- 주부산일본총영사관 행사 성료

총영사관에서는 15일 오후 2시에 부산시립호텔에서 '일본 음식의 매력' 홍보 행사를 개최했다. 이번 행사는 '일본 음식의 매력'을 알리기 위해 마련된 것으로, 참치 해체 시연과 사케 시음 등이 포함되었다. 행사에는 총영사관 직원과 함께 참치 해체 시연을 진행했으며, 사케 시음도 함께 진행되었다. 행사에는 부산시립호텔 직원과 함께 참치 해체 시연을 진행했으며, 사케 시음도 함께 진행되었다. 행사에는 부산시립호텔 직원과 함께 참치 해체 시연을 진행했으며, 사케 시음도 함께 진행되었다.



참치 해체 시연, 사케 시음- 주부산일본총영사관 행사 성료



【結果・評価】

- ◆水産物に拘わる行政、議会関係者が日本の水産物のすばらしさを直接体験することで、安全性・高品質をアピール。
- ◆当地放送局、新聞社により、今次レセプションの様子が報じられたことで、日本の水産物を楽しむ姿が広まり、日本食に対する一般市民の関心が更に高揚。
- ◆前回、前々回に続き、まぐろ解体ショーの人気は高く、好評を博した。
- ◆日本の水産関係者、当地の水産物輸入業者からは、今後もこうした催しを通じて、新たな商流が構築されることを期待するとの声が上がった。



【農林水産物・食品の広報】

広島県産日本酒と四川料理のペアリングイベント(中国)

開催日：令和6年6月3日

場 所：在重慶総領事公邸

主催（共催）：在重慶総領事館

在重慶総領事館

【概要】

●2024年6月3日、四川料理に合う清酒「と」を開発した広島県今田酒造の日本酒と四川料理のペアリング夕食会を総領事公邸で開催。重慶のホテル・レストラン経営者、文化人、インフルエンサー等23名が参加した。

●参加者は、日本酒知識の説明、今田美穂・同酒造社長兼杜氏自らによる「と」の開発秘話等を聞きつつ、四川料理と日本酒のマリアージュを体験した。

●翌6月4日には、四川省成都市内で麻婆豆腐と同県産日本酒のペアリングイベントが四川料理店（陳麻婆豆腐）で行われ、四川省美食家協会のほか、一般来場者など約30人が参加した。

【結果・評価】

●日本酒の受容・普及が始まった段階の重慶において初の試みといえるイベント。夕食会出席者からは高い評価を受け、「日本酒の多様性に驚いた」、「日本酒と四川料理は思いもかけず合う」、「今日飲んだ酒をホテルに導入したい」との声が聞かれた。

●邦人プレス（NHK）によるカバーあり、NHK-BS、地域局、国際放送で複数回に亘り報道。



- 主な参加者：主に地元商工会・関係団体、企業関係者、日本食レストラン関係者、メディアから約40人が参加（日本大使館から町田臨時代理大使ほか参加）
 - 国内外の企業を含む商工会の連合組織であるバングラデシュ商工会議所連合（F B C C I）のMahbubul Alam会頭が主賓として参加
 - 参加したゲストから、「運営しているレストランで早速ホタテを使いたい」旨述べるところがあった
- （参考）主な対応状況
- ・ 令和5年度予備費（ALPS処理水関連、JETROが実施）を活用
 - ・ 泉レストランが北海道からホタテを調達し、カルパッチョ、寿司、フライ、焼きうどん、リゾットなどに調理して提供（ホタテ約200個分）。



町田臨時代理大使による挨拶



アラム・バングラデシュ商工会議所会頭による挨拶



buffet形式によるホタテ提供



顔出し看板でのPR



ホタテカルパッチョ



ホタテにぎり寿司



ホタテフライ



ホタテ焼きうどん

- 主な参加者：主にインフルエンサー（ブロガー、モデル、歌手など）、メディアから約40人が参加（日本大使館から町田次席公使ほか参加）
- 特に、映画女優Jaya Ahsan氏（Facebookフォロワー約600万人）、ユーチューバーRafsan TheChotoBhai氏（Facebookフォロワー約400万人）をはじめとしたインフルエンサーによる参加を得たことは日本産ホタテの認知度向上に有益であったと史料（後日、複数の参加者によるSNSでの投稿を確認）

（参考）主な対応状況

- ・ 令和5年度予備費（ALPS処理水関連、JETROが実施）を活用
- ・ 匠ジャパニーズレストランが北海道からホタテを調達し、クラムチャウダー、オイル漬け、浜焼き、ラーメンなどに調理して提供（ホタテ約200個分）



プロモーション動画の上映



フードブロガー、インフルエンサーによる調理の撮影



料理説明、取材の様子



ホタテクラムチャウダー



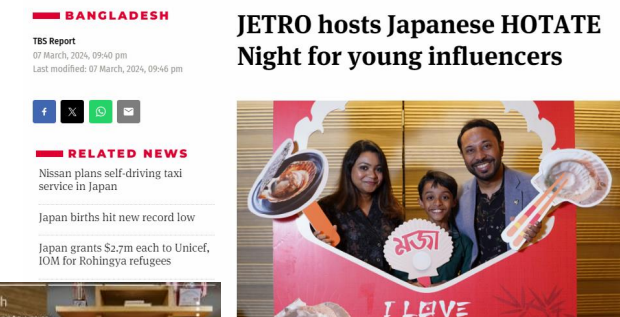
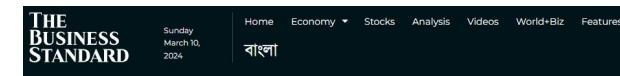
ホタテオイル漬け



ホタテ浜焼き



ホタテラーメン



参加したインフルエンサーによるSNS発信の例

Japan External Trade Organization (JETRO) Dhaka organised a promotional night at a traditional Japanese style restaurant to promote Japanese Scallops (HOTATE in Japanese) in Bangladesh.

Government of Japan has taken steps to promote popular Japanese scallops as a sea food item in Bangladesh under the joint supervision of Japan External Trade Organization (JETRO) and the Japanese Embassy of Japan in Bangladesh, reads a press release.

現地報道（日本政府が日本産ホタテの振興に取り組んでいる旨記載あり）

- 主な参加者：現職閣僚・前閣僚ほか、当地政府、経済関係団体、外交団、メディア関係者など約480人
 - 日本大使スピーチにおいて、東日本大震災に関連した日本産食品等に対する輸入規制の存在とともに「日本を代表する海産物である美味しいホタテ」を紹介
 - 当地ではもともと貝を食べる食文化そのものがないが、事後アンケート（口頭）によると、試食をしたゲスト（約4割はホタテ初試食）のうち97%が5段階評価で4又は5と評価
- （参考）主な対応状況
- ・ 令和5年度予備費（ALPS処理水関連、JETROが実施）を活用
 - ・ 匠ジャパニーズレストランが北海道から調達したホタテ約300個を浜焼きに調理して提供、約1.5時間で完食
 - ・ 屋外（大使公邸庭）での調理であり、調理時間と衛生面を考慮し、ホタテは予め蒸して準備



岩間駐バングラデシュ大使や安藤JETROバングラデシュ事務所長から政府要人へ直接PR（左上：フマコン工業大臣、右下：ラザク前農業大臣）



一時は30人ほどの行列ができるなど、終始盛況な様子（事後アンケート（口頭）も実施）

【農林水産物・食品の広報】和食の魅力発信イベント(フィリピン)

開催日: 令和6年2月9日

場 所: 在フィリピン大使公邸

主催: 在フィリピン日本大使館 協力/JNTO

在フィリピン大使館



【概要】

大使公邸にて、和食の魅力広報発信イベントを実施した。公邸料理人による寿司デモンストレーションや日・フィリピンのマリアージュ料理、東北・石川等被災地の日本酒が披露された。

当日はフィリピン主要各紙の文化系コラムニストを招待すると共に、当地の有名シェフがメディア向けに料理や酒の解説を実施し、イベント実施後は各紙で報じられた。また、日・フィリピン食文化交流への貢献に対して、当地のシェフ「レジー・アスピラス氏」への在外公館長表彰も実施された。

現地紙「Philippine News Agency」では、「食事は文化大使であり、人と人をつなぎ、2国間の友好を促進する。」と報道された。

また、現地日系メディア「ふいるトピ！フィリピントピックス」では、「鈴木大輔・公邸料理人によるお寿司のショーや様々な料理が振る舞われると共に、宮城や石川の地酒を通して被災地の復興を応援する説明も行われました。」と報道された。

【農林水産物・食品及び日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本産水産品及び酒類、並びに日本企業のPR(フィリピン)

在フィリピン大使館

開催日： 令和6年2月23日

場 所： グランド・ハイアット・マニラ

主催(共催)： 在フィリピン大使館

協力／参加企業： JETRO、沖縄県産業振興公社、
日本企業32社(フィリピン未進出企業を含む)

【概要】

- 当館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、JETRO協賛による日本産水産品(マグロ、ホタテ、ウニ、カキ等の寿司や刺身)の提供に加え、Miss SAKEによる紹介のもと日本酒を来場者に振る舞ったと共に、日本酒による乾杯を行った。
- また、沖縄県産業振興公社による泡盛の試飲の提供や、フィリピン未進出企業を含む32社によるブース展示(JICAの民間連携事業実施業者による桑の葉茶の試飲や黒ニンニクのサンプル提供の他、日本米や寿司、スイーツ等の試食、お茶や酒類の試飲、車両等の展示や写真ブースの設置等)による日本企業のPRを併せて実施した。
- 同レセプションには、ヴィラータ元首相、ベルサミン官房長官、ロムアルデス下院議長をはじめとするフィリピンの政府要人や経済界要人、各国外交団、報道関係者等、合わせて約1,000名が来場。多くの来場者が各ブースに立ち寄り、日本企業が提供する製品・サービスに興味を示しており、オール・ジャパンで日本の魅力を発信する機会となった。



【日本企業の広報】【農林水産物・食品の広報】【地方自治体との連携】

天皇誕生日祝賀レセプション: 官民で日本の魅力発信(ダバオ)

開催日: 令和6年2月15日

場 所: ダバオ市内 SMX

主催: 在ダバオ総領事館

協力/参加企業・自治体: 大阪府泉南市、北九州市、浜松市、Yamaha Motor Philippines、Suzuki Philippines、グローバル人材サポート浜松、村松商店、春華堂、Canon Philippines、Yakult Philippines、ミンダナオ日本人商工会議所、Nakashin Davao International、Hello World Tours、Onodera User Run、Davao Bypass関連企業。

在ダバオ総領事館

【概要】

- ダバオ市政府関係者や外交団、ビジネス関係者等約250人が参加した天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、3地方自治体ブース、11企業ブース、和食・日本酒・日本茶のブースを設置。
- (地方自治体)ダバオ市の姉妹都市である北九州市、泉南市、及びダバオとの関係を強化している浜松市がブースを設置。各自治体の観光地・文化・食などの魅力、自治体の取り組み等を紹介した。
- (企業)泉南市の関連企業、浜松市の関連企業、ダバオにある日系企業等が参加し、合計11ブースを設置。ダバオ日本人商工会議所もブースを設置し、各方面との交流を広げた。
- (和食・日本酒・日本茶)公邸料理人がそばを用意し、ブースで1杯ずつ盛り付けを実演しながら提供。「伝統的の酒造り」について、日本酒の試飲だけでなく、インターン生によるプレゼンを実施し、PRを行った。浜松の村松商店と協力し、緑茶(温冷)、抹茶ラテ、静岡割りを提供。
- オールジャパンで日本の魅力を発信し、日本ダバオの関係強化に繋がる大変貴重な機会となった。
- イベント後2週間にわたって、ブースや記者の体験について報道された。また、1週間にわたって当館Facebookにて事後広報を行った。



天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産物及び日本酒のPR(ベトナム)

開催日：令和6年2月23日

場 所： JWマリオットホテル ハノイ

主 催： 在ベトナム大使館

【提供水産物】

石川県近海産紅ズワイ蟹、石川県近海産さわら
三重県産なまこ、北海道産ホタテ、青森産ホタテ
宮城県産あん肝、富山県産ホタルイカ

【提供酒類】

26道府県の35種のお酒(日本酒、果実酒、)を用意

在ベトナム大使館



【概要】

- ベトナム政府関係者や外交団、ビジネス関係者等約540名が参加した天皇誕生日レセプションにおいて、能登半島地震の被害のあった石川県産水産物や中国の日本産水産物の輸入禁止措置により新たな販路開拓が急務のホタテ、ナマコなどを用いた料理を提供するブースを設置し、日本産水産物の魅力を発信。
- また、水産物を用いた料理とのペアリングを目的に日本各地の酒類を提供するとともに各酒類の特徴などを紹介する専門家も配置することにより日本産酒類のPRも実施。
- 加えて、ベトナムに輸出可能な旬の果物であるリンゴの提供も行うことにより、オールジャパンの取組として日本産農水産物・食品の魅力を発信。
- なお、水産物の提供ブースでは、オールジャパンの取組と言うことが伝わるよう「JAPANESE SEAFOOD」というロゴや水産物をビジュアル的に視認可能なバナーを設置。約600名分を想定して用意した料理は好評のうちに消費された。
- 来場者からは、提供された水産物の種類の確認やどこで食べることが可能かといった問い合わせも数多くあり、本イベントは大成功のうちに終了した。
- 在ベトナム日本大使館のFacebookにおいても天皇誕生日レセプションのイベントとして発信するなど、同レセプション参加者以外へのPRも実施。

【農林水産物・食品の広報】天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産水産品のPR(ダナン)

在ダナン総領事館

開催日: 令和6年2月28日

場 所: ダナン三日月ホテル

主催(共催): 在ダナン総領事館

【概要】

- 当館の天皇誕生日レセプションの機会を活用し、長崎からマグロを空輸。当地日系ホテルであるダナン三日月ホテル内寿司レストラン料理長の協力を得てマグロの解体ショー及び寿司の握り実演を実施した。
- 参加者数186名。
- 天皇誕生日レセプションにはダナン市等当館所管地域内の地方政府関係者及び当地ホテル関係者等を招待。解体ショーが始まるとこれら多くの参加者が料理人を取り囲み包丁さばきをスマホで撮影していた。その後解体されたマグロを使用した握り寿司を提供し、日本産マグロの良いプロモーションの機会となった。
- また、マグロとのペアリング消費促進を目的に、当館宛購送済みの日本産酒のブースを同時に設置することで、日本産酒のPRも合わせて実施することができた。



天皇誕生日祝賀レセプションでの日本産食品び日本酒のPR(ホーチミン)

在ホーチミン総領事館

開催日：令和6年2月29日

場 所： ニューワールドホテル

主 催： 在ホーチミン日本国総領事館

【提供食品】

◆水産品

青森県産ホタテ、北海道産ホタテ、山梨県産サーモン、
静岡県産サーモン、宮崎県産カンパチ、大分県産カンパチ、
三重県産なまこ、北海道産いくら

◆日本産コメ

◆岩手県産和牛

【提供酒類】

利き酒師が選んだ水産品に合う日本酒(スパークリング、
にごり酒など10種)を用意



【概要】

- ベトナム地方政府関係者や外交団、ビジネス関係者等約250名が参加した天皇誕生日レセプションにおいて、中国の日本産水産品の輸入禁止措置により新たな販路開拓が急務のホタテ、ナマコなどを用いた料理を提供するブースを設置し、日本産水産品の魅力を発信。料理はすべて公邸料理人が調理した。
- また、水産品を用いた料理とのペアリングを目的に日本各地の酒類を提供し、料理と合わせて紹介することにより、日本産酒類のPRも実施。
- 加えて、日本産コメのPRとして、日本のカレーを合わせて提供することでコメの食べ方を紹介。カレーには和牛のローストを添えることで知名度の高い和牛のPRも合わせて行い、日本産農水産物・食品の魅力を発信。
- 提供ブースでは、オールジャパンの取組と言うことが伝わるよう「Delicious Seafood from Japan」というロゴやビジュアル的に視認可能なバナーやポップを設置。
- 来場者からは、提供された水産物がどこで食べることが可能かといった問い合わせも数多くあり、本イベントは大成功のうちに終了した。



【農林水産物・食品の広報】

「マレーシア食品輸出支援プラットフォーム」の立ち上げ(マレーシア)

開催日： 令和6年5月2日

場 所： 駐マレーシア日本大使公邸

共 催： 在マレーシア大使館、JETROクアラルンプール

【概要】

- 在マレーシア日本大使館、JETROクアラルンプールは、輸出先国・地域で輸出事業者を専門的かつ継続的に支援する「農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム(PF)」のイサム圏初となる拠点をクアラルンプールに設置。
- 5月2日、大使公邸でマレーシア食品輸出支援PFの立ち上げ式を開催。マレーシア政府高官、現地の日本食関連事業者等約120名が出席。
- 立ち上げ式では、今後マレーシアで一層の普及が見込める日本食についてPRを行うとともに、関係者間での交流を促進。また、マレーシア輸出支援PFの設置を契機とした、日本食の一層の普及拡大の可能性について、現地メディアでも多数取り上げられた。
- 7月25日には、マレーシア輸出支援PF事業として、在マレーシア日本大使館、JETROクアラルンプール共催で「マレーシア向け食品輸出に関するEPAセミナー」を開催。
- 今後とも、マレーシア食品輸出支援PFでは、ハラル及びムスリムフレンドリー市場における商流拡大を目指し、企業への情報発信や商流開拓の取組を推進。

在マレーシア日本国大使館



高橋大使挨拶



高橋農林水産大臣政務官挨拶



アーサー・ジョセフ・クルップ
農業・食糧安全保障副大臣



関係者集合写真



立ち上げ式の様子



メディアによる報道

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションに併せた日本産水産品の魅力発信に係るブース出展

開催日：令和6年2月20日

在ラオス日本国大使館

場所：在ラオス日本国大使公邸

主催：在ラオス日本国大使館

協力企業：PTP株式会社（日本製品、食品等小売業等）、NAOKI（現地和食店）

- 天皇誕生日祝賀レセプションの実施に併せ、日本製品や食品等を取り扱う現地日系小売業のPTP株式会社と連携し、日本産水産品の魅力発信のためのブース出展を実施。
- PTP株式会社は、現地和食店「NAOKI」と連携し、同社が仕入れた日本産いくら、ホタテ、ブリ、サバに加え、現地で人気の高いサーモン等を組み合わせた「海鮮丼」を提供。
- 当日は、保冷機材による食材のディスプレイやPTP株式会社によるパネルを用いた食材の説明、水産物購入に係るプロモーション等を行いつつ、来場者約350名に海鮮丼を配布。
- また、小林駐ラオス大使により開会挨拶でブースについて紹介するとともに、閣僚3名を含むラオス政府高官等へのトップセールスも実施。
- 来場者からは、日本のおいしい水産物を試食する機会があって良かった、是非取り扱い店でも購入を検討したい等の声が聞かれた。



【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおけるホタテ寿司・焼ホタテ等のPR(モンゴル)

開催日: 令和6年1月25日(木)

場 所: モンゴル国ウランバートル市 シャングリラホテル・ウランバートル

主催: 在モンゴル日本国大使館

協力企業・自治体: Transwest Mongolia LLC、Mobicom Group、Abico LLC、
Monnis Group、Toyota Sales Mongolia LLC、都城市

在モンゴル日本国大使館

【概要】

1月25日、在モンゴル日本国大使館が主催した天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、日本産水産物の魅力発信のため、ホタテ寿司約500貫、焼きホタテパスタ約400食、ホタテチーズ焼き約500個が提供されました。

ホタテを食べた参加者からは、「生まれて初めてホタテを食べた。食感と風味が独特で美味しい。」、「ほかのネタよりホタテのお寿司が一番美味しかった。」、「生のホタテよりも焼いたホタテのほうが食べやすい。」等のコメントがありました。

また、当地でレストランを経営している経営者からは、「ホタテはモンゴルではなじみのない食材だが、生の海産物を食べる習慣のないモンゴル人でもお寿司なら受け入れやすいことが分かった。今後、自分のレストランでの提供も検討したい。」、「日本産ホタテは価格が高いことがネックだが、美味しかったので引き続き自分の店舗で提供を続けていきたい。」等の意見が寄せられました。

海産物を食べる習慣が少ないモンゴルですが、今回のレセプションでは約500名の出席者にホタテが振る舞われました。これを機に日本食材や日本食が更に普及されることが期待されます。

